

平成14年8月12日

各位

平成14年9月期第3四半期の業績等の概況

会 社 名 株式会社アドバンスクリエイト
 (コード番号 8798 NJ)
 本社所在地 大阪府中央区瓦町三丁目5番7号
 (大阪長和ビル6階)
 問 合 せ 先 責任者 役職名 取締役管理部長
 氏名 森 立夫
 TEL (06) 6204 - 1193

1 連結業績

(1) 平成14年9月期第3四半期(平成13年10月1日～平成14年6月30日)の連結業績

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	平成14年9月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	平成13年9月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
営 業 収 益	百万円 622	% -	百万円 -	百万円 535
営 業 利 益	95	-	-	35
経 常 利 益	123	-	-	33

(注) 1. 当四半期における連結子会社は1社であり、持分法適用会社はありません。

2. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

(2) 部門別の営業収益内訳

	平成14年9月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率	平成13年9月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
疾病保険	百万円 546	% 87.7	% -	百万円 -	% -	百万円 502	% 93.9
傷害保険	22	3.6	-	-	-	14	2.6
自動車保険	13	2.2	-	-	-	13	2.6
その他(死亡、 年金、介護等 保険)	10	1.6	-	-	-	4	0.9
保険代理店手 数料合計	592	95.1	-	-	-	535	100.0
広告料収入	30	4.9	-	-	-	-	-
合 計	622	100.0	-	-	-	535	100.0

(注) 1. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	平成14年9月期第 3 四半期	増減額	前期末
	百万円	百万円	百万円
(資 産)			
現金預金	115	31	84
売掛金	104	46	58
有価証券	30	15	45
前払費用	8	6	2
繰延税金資産	69	34	35
繰延税金資産(長期)	127	17	109
(負 債)			
短期借入金	20	20	-
未払金	101	43	58
未払消費税	4	4	8
賞与引当金	3	3	6

(注) 1 . 総資産額に対する構成比が 1 % 以上変動している科目を記載しております。

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

2 企業集団の状況

当社の保有するプロモーション媒体資源、特にポスティングネットワークを有効に活用し、広告事業の強化拡充を図る目的で、平成 1 4 年 6 月 6 日に当社全額出資による子会社である株式会社アドバンスメディアマーケティングを設立致しました。この子会社は、平成 1 4 年 4 月 1 日がみなし取得日となりますので、本四半期から連結ベースでの業績等の開示を行っております。

この子会社の設立に伴って、従来当社を経由して外注していた保険会社が負担する広告費を、保険会社から株式会社アドバンスメディアマーケティングに直接発注することといたしました。これにより、従来広告宣伝費から控除していた保険会社の広告費負担額が、平成 1 4 年 6 月 6 日以降は株式会社アドバンスメディアマーケティングの営業収益に計上されております。

3 業績の概況

(当四半期の業績)

当社の収益構造は、費用が先行するという特徴を有しております。当社の収益である保険募集に係る代理店手数料は、当社が募集した保険契約が成立した後に、原則として保険会社が保険契約者から保険料を収受する都度当社に支払われます。特に当社が取り扱っている保険商品は、一部を除き代理店手数料の支払期間が長期(5 ~ 1 0 年) に亘るという特徴を有しております。

一方で当社は、ポスティングを中心としたプロモーション活動により見込顧客の開拓を行っており、かかるプロモーション活動および保険募集に係る費用はプロモーション活動を実施したときに発生します。

従って、当社の収益構造は、プロモーション活動および保険募集に係る費用が先行して投下され、それから得られる収益は代理店手数料として当該費用が支出されてから 3 ~ 4 ヶ月後の新規契約により回収が始まり、その後長期間(5 ~ 1 0 年) に亘って回収されるという構造をもっています。

当社の第1、第2および第3の各四半期（3ヵ月）の保険新規契約件数は、それぞれ4,348件、6,152件および8,886件と期を追うごとに急激な増勢を示しております。保険代理店手数料収入も、それに伴い165百万円、188百万円および238百万円と同じく期を追うごとに増加いたしました。一方、広告宣伝費の投下金額は、費用対効果の改善に加えて季節変動要素があるため、138百万円、93百万円および63百万円と逆に大幅に低減できております。この結果、営業損益は90百万円、42百万円および37百万円と急速に改善しつつあります。

当期においては、市場シェアの拡大を最優先の経営目標としており、当四半期（9ヵ月）では296百万円（保険会社の負担額を除いた当社負担額）という高水準の広告宣伝費の先行投資を行いました。この先行投資の効果は、下期とくに第4四半期に顕著に表れますので、大幅な増益を見込んでおります。

（部門別の営業収益）

2. 企業集団の状況に記載の通り、当四半期から株式会社アドバンスメディアマーケティングを連結することとなったので、広告料収入が4.9%計上されております。保険代理店手数料については、前期（通期）と比べ、構成比に大きな変化はありませんが、疾病保険が相変わらず大きな比率を占めており、傷害保険がやや増加傾向にあります。

（販売費及び一般管理費）

当四半期の販売費及び一般管理費は、691百万円となっておりますが、第1、第2および第3の各四半期（3ヵ月）で見ますと、それぞれ256百万円、230百万円および204百万円と低減しております。これは主として広告宣伝費の低減によるものであります。

（営業損益、経常損益）

当四半期（9ヵ月）においては、営業損失95百万円、経常損失123百万円と、営業損益、経常損益共に損失を計上しております。しかし、（当四半期の業績）で説明しましたように、当社独特の収益構造に加え、当社の季節変動の要因および前期以前に獲得した継続契約から得られる手数料収入が着実に増加しつつあること等により、この営業損失、経常損失は当期中に改善されるものと考えております。

なお、第3四半期（3ヵ月）においては、上場関連費用20百万円を営業外費用に計上しておりますので、経常利益が一時的に減少しております。

株式会社アドバンスメディアマーケティングについては、平成14年6月6日の設立でありますので、営業損益、経常損益に大きな影響を与えるに到っておりません。

（資産、負債、資本）

当四半期は損失を計上しておりますので、税効果会計を適用した結果、繰延税金資産が流動資産計上分および投資その他の資産計上分の合計で51百万円増加しております。

短期借入金につきましては、平成13年12月に短期の運転資金として調達いたしました残額であり、平成14年7月に完済しております。

売掛金および未払金は、前期末に比べそれぞれ46百万円および43百万円増加しておりますが、これは主として営業収益の拡大と広告宣伝費の増加に伴うものであります。

4 単体業績

(1) 平成14年9月期第3四半期(平成13年10月1日～平成14年6月30日)の単体業績

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	平成14年9月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	平成13年9月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
営 業 収 益	百万円 592	% -	百万円 -	百万円 535
営 業 利 益	96	-	-	35
経 常 利 益	123	-	-	33

(注) 1. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

(2) 部門別の営業収益内訳

	平成14年9月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率	平成13年9月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
疾病保険	百万円 546	% 92.2	% -	百万円 -	% -	百万円 502	% 93.9
傷害保険	22	3.8	-	-	-	14	2.6
自動車保険	13	2.3	-	-	-	13	2.6
その他(死亡、 年金、介護等 保険)	10	1.7	-	-	-	4	0.9
合 計	592	100.0	-	-	-	535	100.0

(注) 1. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	平成14年9月期第3四半期	増減額	前期末
(資 産)	百万円	百万円	百万円
現金預金	78	6	84
売掛金	98	40	58
有価証券	30	15	45
前払費用	8	6	2
繰延税金資産	69	33	35
未収金	16	11	4
関係会社株式	10	10	-
繰延税金資産(長期)	127	18	109
差入保証金	54	24	29
新株発行費	11	10	1
(負 債)			
短期借入金	20	20	-
未払金	104	46	58
未払消費税	4	4	8
社債	17	1	18

(注) 1. 総資産額に対する構成比が1%以上変動している科目を記載しております。

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。

5 当期の見通し

業績の概況で説明致しましたとおり、当四半期は当社の収益構造等により、営業損失および経常損失を計上しておりますが、通期においては営業損益および経常損益共に改善され、黒字化できるものと認識しております。

当期の見通しは、連結ベースでは営業収益 1,100 百万円、営業利益 110 百万円、経常利益 85 百万円を、単体ベースでは営業収益 1,070 百万円（前期比 99.8%増）、営業利益 110 百万円（前期比 214.3%増）、経常利益 85 百万円（前期比 150.1%増）をそれぞれ見込んでおります。

6 その他

株式会社クークーとの資本および業務提携（後発事象）

当社は、平成 14 年 7 月、全国の商店街の IT 化と地域活性化を結びつけた『サイバーシティ』プロジェクトを運営する株式会社クークー（所在地：神戸市中央区、代表取締役 鎌塚大典）と資本提携及び広範囲な業務提携を行いました。3 年後には、この提携による商店街ビジネスおよび WEB サイトで、年間 10,000 件の新規保険契約の獲得を目論んでおります。

主な提携内容は下記の通りです。

株式会社クークーの第三者割当増資を下記の内容で引き受け

- ・ 第三者割当増資株数 700 株（1 株の発行価額 140 千円）
- ・ 内当社引受株数 70 株
- ・ 第三者割当増資後の発行済株式数 2,000 株

株式会社クークーは当社の保険通信販売プロモーションが展開できる商店街の開拓を行う。

当社は株式会社クークーが新規に商店街ビジネスを展開する際、その商店街が必要としている各種印刷物（チラシ、エリアマップ、スタンプカード等）を提供する。

株式会社クークーが開拓した商店街及び株式会社クークーが運営する WEB サイト「サイバーシティ」での保険通信販売ビジネスは当社が独占的に行う。

以 上